

企画展「むかしの旅 いまの旅」 を開催します

木々の緑が深みを増し、旅をするにも心地よい季節となりました。徒歩が中心だった江戸時代までの旅から、鉄道や自動車の交通が発達し便利になった近代の旅まで、岡山市立中央図書館が所蔵する資料約30点によって旅の歴史を振り返ります。

1 日時

令和6年5月23日(木)～6月30日(日) 毎週月曜日休館
開館時間 10時～18時(木曜日は11時～19時)

2 場所

岡山市立中央図書館 2階視聴覚ホール前 展示コーナー(北区二日市町) 入場無料

3 内容

- ・江戸時代の旅は徒歩が中心でしたが、海が穏やかな西日本では船旅もさかんでした。幕府は旅の安全をはかって社会の仕組みを整え、庶民も参詣などで旅を楽しむようになりました。
- ・江戸時代の旅の資料としては、旅行案内書や旅日記などの旅人が携行したものや、旅人を迎え入れるにあたっての決まりや記録を地域の人々が書き留めた文書などが残っています。
- ・近代になると鉄道の発達で旅の様相は一変しました。全国規模の鉄道網が完成した大正期～昭和戦前期には、現代を先駆けて観光ブームが起こっています。観光案内に工夫を凝らし、博覧会が開催され、岡山でも各地の都市と同様に観光客誘致に熱狂した様子が伝わってきます。

4 関連講座

令和6年6月9日(日) 14～16時 「江戸時代の旅をめぐる資料」
会場:岡山市立中央図書館 2階視聴覚ホール 先着60名(申込不要) 聴講無料
講師:飯島章仁(当館学芸副専門監)

【問い合わせ先】

岡山市立中央図書館 飯島・沖田 直通086-223-3373

おもな展示品



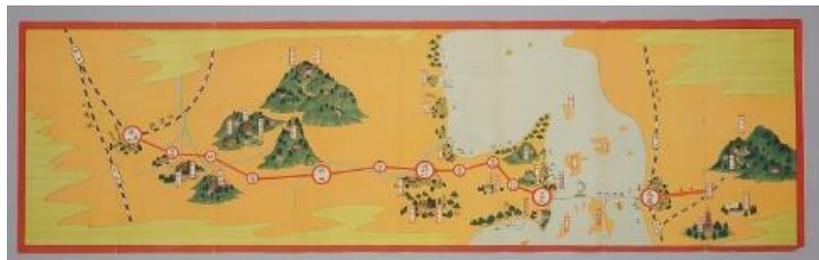
大坂より海路厳島神社参拝道中絵図(江戸時代)



甲州身延山参詣道中日記覚(文政10年)
(津高郡の豪農、安井伴右衛門が綴った旅日記)



金毘羅御宿看板



下津井電鉄御案内(大正12年)(金比羅参詣の航路と結んで建設された軽便鉄道のパンフレット)



吉田初三郎(原画)「岡山市鳥瞰図」(昭和7年に開催された岡山市観光博覧会のパンフレット)